

R4年度 当院のメンタルケアの現状

1 妊娠初期（EPDS・育児支援チェック）

妊娠初期はみなさんにエジンバラ産後うつ病尺度というテストを受けていただきますが、**406名中24名（5.9%）**が基準を上回る結果でした。

これらの多くは、悪阻症状によるものが多く、悪阻の軽快により不安は解消されました。悪阻以外に原因が考えられる場合には、テストを再度行い受け持ちスタッフが担当しより多くの機会にご相談いただけるようにしております。

ご希望により、臨床心理士による心理カウンセリングを実施しております。（予約制）

令和4年、受け持ちスタッフが対応した患者様は**74名（20.8%）**でした。

心理カウンセリングは心療内科や他院でのカウンセリングを受けておられない方を対象に行っており、**2名の方**に受けさせていただきました。（**0.4%**）

2 産後2週間健診、1か月健診（EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票、育児支援チェックリスト）

令和4年1月から12月の間で妊娠初期にテストを受けられた406名のうち、すでに分娩された方は171名、里帰りされた方は35名いらっしゃいます。

171名のうち産後**2週間健診**を受けられた人数は**161名**でそのうち**5名（3.1%）**、**産後1か月健診**は**140名**のうち**4名（2.8%）**の方が基準を上回る結果でした。

地域の保健師と連携をとり、**支援を必要とされた方は17名（5.0%）**おられました。

これからも細やかなメンタルケアを通して、皆様の安全・安心な出産、育児支援を行ってまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

